



市政をズバリ問う 一般質問

本定例会での一般質問は、3月7日～8日までの2日間行われ、7人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

※原稿は議員本人によるものです。

行政のスリム化と 市民負担について

中富 正徳 議員

問 行政の改革が市民の負担に回ってきているのでは。

「じゃない」という考えも蔓延していると思う。地域に

差を感じている地域市民側の事情も考えてほしい。

市長 国の税や医療改正等による部分が極めて多い。

職員が入らない手法以外で、これからの筑後市の基盤を

市役所内でも検討されている事を、市民側にもっと

市も職員削減で国より倍以上の努力をしているし、職員の地域手当も18年度から廃止するなど努力している。

あるなら持つてこいと職員に言っている。とにかく時間をかけ組織全体で納得して、「なるほどこう言う方向で」という形にしたい。

という議論をしている。

問 夕張や大牟田の件では勉強させられた。隣りごとではない。負債は市民のツケとなる。ツケを増やしてもやらなければならない事業については、しっかりと説明責任を果していただきたい。

時間をいただきたい。

説明してほしい。

問 市職員が地域へ机や椅子を置く地域担当職員制度導入が難しいと言うが、

地域担当職員制度を検討しているまちづくり課

地域の活力格差是正の
解消策について

問 実質的な格差が出たとしても意識上での格差は何とか防ぎたい。そのために地域へ職員の机と椅子を置いてもらいたい。

市長 今まで52年の筑後市の歴史の中では、「担当の仕事以外のことはすること



地域担当職員制度を検討しているまちづくり課